

令和7年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	道の駅あらい 防災フェスティバル	事業経緯	継 続	実施体制	協 賛	担当所属	高田支所
事業名 (大項目)	地域づくり活動促進事業	分類名 (中項目)	地域連携・交流促進支援事業			事業区分	体験活動等

1. 事業目的

国道18号道の駅「あらい」は全国に1,200カ所ほどある「道の駅」の中で、103カ所の「重点道の駅」の一つに選定され、地域活性化の拠点づくりを進めることになっている。

本事業は、毎年道の駅「あらい」で開催している「くびき野縁日」と時期を合わせ、多くの市民がさまざまな形で参加する多様なプログラムを通じ、道の駅の役割等を再認識してもらうとともに、道の駅を核とした地域創生の機運を醸造し、市民交流の活性化を図ることを目的とする。

2. 事業実施体制

主 催：道の駅あらい・新井ハイウェイオアシス防災フェスティバル実行委員会
国土交通省高田河川国道事務所、東日本高速道路(株)上越管理事務所、妙高市、道の駅あらい出店者会、妙高ふるさと振興(株)

協 賛：(一社)北陸地域づくり協会

共 催：新潟県警察本部高速道路交通警察隊・交通機動隊、陸上自衛隊高田駐屯地、自衛隊新潟地方協力本部高田地域事務所

3. 事業実施概要

毎年6月初旬に恒例の「くびき野縁日」を昨年同様、「道の駅あらい」が地域の防災拠点としての役割も担っていることから催事名を変えて実施。

日 程：令和7年6月7日(土)、8日(日)

場 所：道の駅「あらい」東エリア

実施内容：

- ・重点(防災)道の駅、国土交通省の事業に関するパネル展
- ・能登半島復興パネル展
- ・はたらく車(災害対策機械等)の展示
- ・降雨体験
- ・キッチンカー・屋台販売
- ・地域FM生放送 など

参加者：のべ約7,000人

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

道の駅「あらい」は国道18号、上信越自動車道双方から出入り可能で、北陸管内でも有数の入り込み客数を誇る。本事業は、「あらい」が平成26年度に地域活性化の拠点として「重点道の駅」に、令和3年度には広域防災拠点として「防災道の駅」に選定されたことを、既存のイベントに合わせ広く周知し啓発するものである。

家族連れなど多くの方々にぎわう会場において、事業の紹介やはたらく車の展示を行うことで、ふだん関心が低いと思われる層にも、重点道の駅だけでなく社会資本整備の重要性をPRする機会となっている。



パネル展示



降雨体験



高所作業車



白バイ試技